

一級自動車工学科・自動車整備科			2026年度 授業計画			
時期	2年B巡	単元	学科	教科名	シャシ整備B	
科目	自動車整備関連	教科書等 持参品	2級自動車整備士（総合）		発行日	2026年4月1日
			科目別標準問題			
総時限	14時限		クロームブック		教科	吉田 宗司
総時間	22.4時間				担当	
単位数	1					
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当						
自動車整備士として、シャシ整備の実務経験がある教員によりシャシの構造、作動について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
<ul style="list-style-type: none"> ①ホイールの構造、機能について理解する ②タイヤの変形、抵抗、発熱、振動、整備などについて理解する ③各ホイール・アライメントの概要や機能について理解する ④ブレーキ装置（ABS、TCS、エアブレーキ、EXブレーキ）の構造、作動、点検整備について理解する ⑤フレーム及びボデーの構造について理解する ⑥先進安全技術の構造、作動について理解する 						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
<ul style="list-style-type: none"> ①ホイールの構造、機能について理解できる ②タイヤの変形、抵抗、発熱、振動、整備などについて理解できる ③各ホイール・アライメントの概要や機能について理解できる ④ブレーキ装置（ABS、TCS、エアブレーキ、EXブレーキ）の構造、作動、点検整備について理解できる ⑤フレーム及びボデーの構造について理解できる ⑥先進安全技術の構造、作動について理解できる 						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
<p>1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 整備科、国際科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。</p> <p>2) 出題試験項目 ①ホイール及びタイヤ ②ホイール・アライメント ③ブレーキ装置 ④フレーム及びボデー ⑤先進安全技術</p>						
5. 準備学習						
<p>事前に一年シャシ構造の内容を確認し、各分野の復習を済ませておく 次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。</p>						
6. 学修時間と単位						
<p>本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。</p>						

